

平成18年1月発行

広報 - 第7号 -

発行元 独立行政法人国立病院機構 宮城病院
 発行責任者 木村 格
 〒989-2202 宮城県亘理郡山元町高瀬字合戦原100番地
 TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316
 ホムページ <http://www.mnh.go.jp>

基本理念

私たちは、国立病院の使命を認識し、当院を利用されるすべての方々に信頼され、かつ満足していただける医療サービスと生活支援をめざしております。



日の出（松島）

日本三景の一つであり、毎年初日の出を見ようと多くの見物客が訪れ賑わいをみせる。

湾内には260余の島があり、松と海のコントラストが美しい。

（写真提供：
宮城県観光課）



年頭のご挨拶【信頼される医療を行います】

宮城病院長 木村 格



新年おめでとうございます。新しい2006年が幸せで豊かな年であることをお祈り申し上げます。年の初めに当たり宮城病院職員一同は、信頼される最良の医療を行うことを誓います。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は大雪や台風の被害など自然災害が日本列島を襲いました。いつでも当たり前に安全だと思っていた鉄道の事故やマンション等の耐震構造の欠陥が暴露され、専門職に対する信頼性が大きく揺らぐ年でもありました。どの領域でもリスク管理は極めて重要なことです。特に医療の分野では事故や間違いを絶対に起こしてはなりません。病院では毎日、

職員全員が医療事故防止と院内感染対策に努力しています。皆様も何かお気づきのことがございましたら、どのようなことでもお知らせ下さい。

さて、新しい年の始まりはいつでも期待と可能性に満ち、誰にとっても神秘的なものに感じます。私達人間は、この広い宇宙の中の本当に小さな星、その地球の極めて限られた場所に一緒に助け合って生きています。小さな間違いも、小さな争いもこのかけがえのない地球に大きな被害を招きます。今年こそは日本で、世界中で、お互いを思い遣り、助け合い、補いあう心が育ち、私達の地球に豊かな自然の恵みが溢れることを祈りたいと思います。

私達は誰でも、それぞれ与えられた運命の中で一生懸命に生きています。永遠に続く時間の流れの中で、ひとり1人の命は本当に限られたわずかな時間です。そんな大切な時間を私たちは今、ここで共有しているのです。一緒に生きていること、地球の同じ場所に生きていること、その素晴らしさと幸せを感じます。

今年も一日一日を大切に生きて行きたいと思っています。

『その日、その日が1年中の最善の日である』 エマソン（1803 1882）

第14回宮城県療育懇談会開催

療育指導室長 鈴木 孝

平成17年12月3日(土)午後1時より当院大会議室で宮城県療育懇談会が開催されました。当懇談会は西多賀病院、エコ療育園、当院の重症心身障害の病棟を有する病院・施設と関連の拓桃医療療育センター、宮城県こども病院の5施設で療育についてざっくばらんに懇談し、療育の質を高めようとする主旨から年2回、持ち回りでっております。

第14回は当院が主となり、「障害児・者の「食」について」というテーマで行いました。障害児・者においては日常的に、かつ重要な課題であることから、施設、訪問看護ステーション、養護学校及び在宅で障害児の養育を行っている家族等の各セクションから話題提供をしてもらい、その後、食形態や摂取の方法、訓練の仕方など多岐にわたる懇談が行われ、「食」に対しての思いを新たにすることが感じられたものと思われま

す。当日は県内の養護学校、訪問看護ステーション、病院、通園施設等の障害児・者に関わる78名の参加があり盛会の内に終えることができました。会議室等の利用に関しご協力頂いた関係者の皆様にお礼申し上げます。

- 話題提供
1. 重症心身障害児施設における摂食機能障害への取り組み(エコ療育園)
 2. 摂食機能障害がある重症心身障害児(者)への関わり(宮城病院)
 3. 経管栄養摂取児童が経口摂取できるまでの支援について(角田養護)
 4. 要医療行為通学児童生徒学習支援事業を通して(角田訪問看護ステーション)
 5. 在宅における「食」の関わりについて(在宅保護者)

お知らせ

病院の門の側で静かに水を湛える甲辰の池。ほとりにあるカバちゃんとパンダちゃんのベンチにお気付きですか？看護学校同窓会からの贈りものです。愛らしくて癒しになりますよ。どうぞ御愛用下さい。



クリスマス聖歌隊

12月21日、毎年恒例のクリスマス聖歌隊が行われました。各職場から有志が集まり、それぞれ扮装して入院患者さんのところを巡りました。今年はギターが3人、フルート1人、コーラス多数という編成になりました。患者さんに快く迎えていただき無事に終えることが出来ました。



職場紹介

～ 第3病棟～



3病棟は脳外科・神経内科混合の急性期病棟です。病棟長の安藤先生、副病棟長の澁谷先生が主体となり、脳外科医師2名、神経内科医師4名、看護師24名で在院日数21日を目指し、力を合わせ一丸となりがんばっております。

入院患者さんの状況は、脳血管障害、神経筋疾患、神経難病、パーキンソン病の薬コントロール、手術適応患者さんの受け入れがメインとなっています。

1～12月までの入院患者数は535名、退院数528名、手術患者数80名でした。手術、検査、入・退院の対

応、日々の看護ケアと追われる毎日です。

ナースステーションが他病棟と違い、急性期患者さんに対応できるようなL字の配置となっています。24名のスタッフは、『笑顔』と『明るさ』と『患者さんの視点で！！』をモットーに、日々がんばっています。12月から固定チームナーシングを導入し更に患者さんひとりひとりにあった看護ケアが提供できるように努力しているところです。

(3病棟看護師長 照井 洋子)

当院院長、菊地恵子（私の母親）は長らく「国立宮城療養所」に医師として奉職し、その後当院を開業いたしました。その息子である私はといえば小学校の6年間を「療養所」の官舎で過ごし、今は埋め立てられてしまった池でザリガニを取ったり、裏の山に登ったりと楽しい思い出を作らせて貰いました。療養所は私のプレイグラウンドだったのです。もう時効でしょうし、今では考えられないことですが、幼い私は母親が当直の時などには医局や当直室に遊びに行ったりしてさえいました。看護師さん方はじめ職員の皆様には可愛がってもらいました。さらに高校生になると無理が祟って倒れ3ヶ月の長期入院をさせていただいたこともあります。



そんな私が医師として宮城病院にかかわったのは大学の医局から派遣医師の都合が付くまで短期赴任せよとの命令があった時の事でした。実家がすぐ近くにもかかわらず実験のため診療が終わったら仙台に戻っていた事を思い出します。

当院は院長の経歴とともに距離が大変近いこともあり設立当初から宮城病院とのかかわりが深く、無床診療所であることもあって入院検査その他で大変お世話になっていましたが、10年前に私が実家に帰るといって戻ってからは内科の先生方が第2内科で同門だったこともあってさらに結びつきが強くなりました。

現在は、脳外科や神経内科を中心に患者さんを受け入れていただいております、これからますます当院と宮城病院との所謂病診連携を密にしたいと考えております。

（菊地内科医院副院長 菊地 匡）



菊地内科医院のご紹介

診療科 / 内科、小児科
 住 所 / 〒989-2203
 宮城県亶理郡山元町浅生原字作田山2-72
 電 話 / 0223-37-3300

生活習慣病を予防しよう

栄養管理室から ~ 高脂血症編最終回 ~

高脂血症は、名前のお通り血液中の脂質が多くなった状態をいいます。これらは自覚症状がほとんどなく、そのままにしておくと動脈硬化が進み心筋梗塞や狭心症、脳梗塞といった合併症を引き起こしてしまいます。また、高脂血症は総コレステロールが多くなった高TC血症と、中性脂肪が多くHDLコレステロールが減った高TG血症の2種類に分けることができ、それぞれの状態に合わせて食事療法の種類も異なります。



<高TC血症の場合>

摂取カロリーに注意し鶏卵や魚卵を控えて海藻などの食物繊維を多く摂るようにします。

<高TG血症の場合>

中性脂肪になりやすい甘いものや果物の食べすぎに気をつけ、減量に取り組みます。お酒も控えましょう。

また、この二つに共通して肉よりも魚や植物油を摂る事が大切です。

食べ物の中には、健康維持機能や嗜好増進機能の他に三次機能と言われるものがあります。これには、免疫系や神経系などの調節をする生体調節機能があります。例えば大豆蛋白のグリシニンやえびや蟹の甲羅にあるキチンからできるキトサンのコレステロールや中性脂肪を下げたり、吸収を抑えてくれるような働きです。この三次機能が生活習慣病の予防につながる食品の働きです。

食生活は毎日の積み重ねです。高脂血症と言われたからと急に变えるのは難しく、なかなか長続きしません。食事療法では食事の内容も重要ですが長く続けていくことも重要です。少しずつでも意識して生活の中に取り入れていけるようにしましょう。



診療案内

平成18年1月1日現在

診療科別	月	火	水	木	金	
内科	鎌田 和彦	木村 格	鎌田 和彦		鎌田 和彦 <small>仙台医療センター医師</small>	
総合内科			今井 尚志			
神経内科	新 患	木村 格	藤井 玲子	久永 欣哉	木村 格	藤井 玲子
	再 来		今井 尚志	澁谷 聡	久永 欣哉	
		岩崎 祐三	菅野 重範		松本 有史	(高次脳機能)
呼吸器科	芦野 有悟					
消化器科	阿部 毅	検査	検査	阿部 毅	検査	
高血圧/リハ外来	佐藤 智彦			佐藤 智彦		
循環器科					県南中核病院医師	
アレルギー科	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	
小児科	午 前	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
	午 後		小児アレルギー (堀川 雅浩)	(第1・3)乳児検診	療育相談 (大島 武子)	
外科	岩附 昭広	岩附 昭広	手術日	岩附 昭広	岩附 昭広	
脳神経外科	志田 直樹	安藤 肇史	志田 直樹	手術日	安藤 肇史	
皮膚科				第4(木)のみ 東北大医師		
リハビリテーション科			(第2・4午後)新藤 恵一郎 (入院患者対象)			
歯 科	小西 寛子	小西 寛子	小西 寛子	小西 寛子	小西 寛子	
専門外来	パーキンソン病外来		久永 欣哉			
	A L S 外来		今井 尚志			
	漢方外来	佐藤 智彦			佐藤 智彦	
	頭痛外来	佐藤 智彦			佐藤 智彦	
	脳ドック	佐藤 智彦			佐藤 智彦	

受診される方へ

受付時間は8:30~11:00です。

土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。

ただし、救急の方は随時受け付けいたします。

お問い合わせ先 0223-37-1131

初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に2,625円を負担していただくこととなりますので予めご了承ください。

交通のご案内

自動車でおいでの方

仙台方面から

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線6号線の分岐点から南へ約20km、国道6号線314.5kmポイントの位置です。

相馬方面から

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

交通機関をご利用の方

仙台方面から JR常磐線山下駅下車、タクシーで約5分

相馬方面から JR常磐線坂元駅下車、タクシーで約5分

